



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL http://www.koshuha.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 湖東 彰弘 TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,476	△5.4	761	88.0	818	93.7	647	8.7
27年3月期第2四半期	20,586	8.6	405	—	422	—	595	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 627百万円 (△4.6%) 27年3月期第2四半期 657百万円 (3357.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4.42	—
27年3月期第2四半期	4.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	40,358	18,993	47.1	129.57
27年3月期	40,882	18,659	45.6	127.29

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 18,993百万円 27年3月期 18,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.0	2.0
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は定款において9月30日（第2四半期末日）及び3月31日（期末日）を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△4.4	1,260	0.9	1,360	2.1	1,080	△22.8	7.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	146,876,174株	27年3月期	146,876,174株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	285,754株	27年3月期	279,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	146,594,133株	27年3月期2Q	146,601,373株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 第2四半期決算概要	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、円安基調の継続による輸出の採算改善、原油安によるエネルギーコストの低下等の企業業績の改善要素はあるものの、個人消費の低迷等から、4月-6月期のGDP（国内総生産）は悪化しており、日本経済全般は厳しい状況にあります。加えて中国や新興国等の景気が減速しており、景気の先行きの不透明感がますます増しております。鉄鋼業界におきましても、今年度の国内粗鋼生産量は前年度割れが見込まれております。

このような経済環境のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,476百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益761百万円（前年同期比88.0%増）、経常利益818百万円（前年同期比93.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益647百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

各セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔特殊鋼〕

工具鋼、特殊合金、軸受鋼の各製品分野で売上数量が減少したことにより、売上高は14,222百万円（前年同期比5.7%減）となりました。損益面では売上数量の減少や労務費の増加などの減益要因はありましたが、原燃料価格の下落などから、営業利益は477百万円（前年同期比109.1%増）となりました。

〔鑄鉄〕

建設機械向けを中心に売上数量が減少したことにより、売上高は4,210百万円（前年同期比5.4%減）となりました。損益面では売上数量が減少したものの、原燃料価格の下落などから、営業利益は231百万円（前年同期比55.1%増）となりました。

〔金型・工具〕

売上高は1,043百万円の前年同期比ほぼ横ばいとなりました（前年同期比1.0%減）。損益面では経費減少等もあり、営業利益は52百万円（前年同期比91.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少701百万円、その他の増加235百万円等による流動資産の減少447百万円、有形固定資産の増加60百万円及び投資その他の資産の減少127百万円等により40,358百万円となり、前連結会計年度末に比べ524百万円減少しました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少887百万円、短期借入金及び退職給付に係る負債の減少67百万円等により21,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ857百万円減少しました。

純資産合計は、期末配当の実施293百万円や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上647百万円等により18,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ215百万円増加し、672百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益764百万円、減価償却費805百万円、売上債権の減少701百万円等により増加した一方、仕入債務の減少936百万円、その他の減少411百万円等により減少した結果、736百万円の収入（前年同期は603百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出450百万円等により、404百万円の支出（前年同期は729百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の増加による収入74百万円、長期借入れによる収入300百万円により増加した一方で、長期借入金の返済による支出168百万円、配当金の支払293百万円により、116百万円の支出（前年同期は301百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績はほぼ平成27年7月29日発表どおりとなりましたが、平成27年4月28日に公表した予想を下記の通り修正しております。

①当期末の業績予想

売上高	39,000百万円	(前回予想	41,650百万円)
営業利益	1,260百万円	(前回予想	1,450百万円)
経常利益	1,360百万円	(前回予想	1,500百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,080百万円	(前回予想	1,280百万円)

②変更の理由

景気の先行きが不透明な中で当社グループの受注環境は厳しさが増しており、当期の売上高につきましては特殊鋼セグメントや鋳鉄セグメントで売上数量の減少等により当初予想を下回る見込みであります。また、損益面でも、原燃料価格の下落による影響などの増益要因はあるものの、売上数量の低下による影響が大きく、当初予想を下回る見込みです。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的に判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	195	161
受取手形及び売掛金	7,761	7,060
製品	3,134	3,283
仕掛品	4,370	4,176
原材料及び貯蔵品	3,229	3,326
その他	895	1,131
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	19,576	19,128
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,635	6,560
土地	8,507	8,507
その他(純額)	4,162	4,298
有形固定資産合計	19,305	19,366
無形固定資産	106	95
投資その他の資産		
投資有価証券	1,025	937
その他	899	860
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	1,894	1,767
固定資産合計	21,306	21,229
資産合計	40,882	40,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,527	6,639
短期借入金	4,595	4,759
未払法人税等	93	106
賞与引当金	455	462
その他	3,362	3,261
流動負債合計	16,034	15,229
固定負債		
長期借入金	458	500
再評価に係る繰延税金負債	1,884	1,879
退職給付に係る負債	3,268	3,200
その他の引当金	109	86
その他	468	469
固定負債合計	6,188	6,135
負債合計	22,222	21,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	915	1,270
自己株式	△35	△36
株主資本合計	17,689	18,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	127
土地再評価差額金	1,220	1,225
退職給付に係る調整累計額	△438	△403
その他の包括利益累計額合計	970	949
純資産合計	18,659	18,993
負債純資産合計	40,882	40,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,586	19,476
売上原価	18,294	16,792
売上総利益	2,291	2,683
販売費及び一般管理費	1,886	1,921
営業利益	405	761
営業外収益		
受取配当金	23	33
受取賃貸料	20	34
助成金収入	11	2
その他	34	54
営業外収益合計	89	124
営業外費用		
支払利息	25	21
売上債権売却損	13	11
出向者人件費負担金	11	12
その他	21	22
営業外費用合計	72	68
経常利益	422	818
特別利益		
固定資産売却益	—	0
補助金収入	566	—
特別利益合計	566	0
特別損失		
固定資産処分損	26	44
固定資産圧縮損	524	—
投資有価証券評価損	4	—
ゴルフ会員権売却損	—	10
特別損失合計	555	55
税金等調整前四半期純利益	433	764
法人税、住民税及び事業税	33	77
法人税等調整額	△196	39
法人税等合計	△162	116
四半期純利益	595	647
親会社株主に帰属する四半期純利益	595	647

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	595	647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△60
土地再評価差額金	—	4
退職給付に係る調整額	35	35
その他の包括利益合計	61	△20
四半期包括利益	657	627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	657	627
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	433	764
減価償却費	801	805
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△66	△37
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△2	△22
固定資産圧縮損	524	-
補助金収入	△566	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△562	701
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△457	△50
仕入債務の増減額 (△は減少)	449	△936
その他	102	△411
小計	656	810
法人税等の支払額	△52	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	603	736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△725	△450
利息及び配当金の受取額	23	34
その他	△26	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△729	△404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△294	74
長期借入れによる収入	150	300
長期借入金の返済による支出	△121	△168
リース債務の返済による支出	△8	△7
自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△25	△21
配当金の支払額	-	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301	△116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△426	215
現金及び現金同等物の期首残高	772	456
現金及び現金同等物の四半期末残高	345	672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,083	4,448	1,054	20,586	—	20,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	15	4	100	△100	—
計	15,163	4,463	1,059	20,687	△100	20,586
セグメント利益	228	149	27	405	—	405

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,222	4,210	1,043	19,476	—	19,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	17	1	97	△97	—
計	14,300	4,227	1,044	19,573	△97	19,476
セグメント利益	477	231	52	761	—	761

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 第2四半期決算概要

平成27年10月30日
日本高周波鋼業株式会社

平成28年3月期 第2四半期決算概要

連 結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位：百万円、%)

摘要	当期 28年3月期 第2四半期	(対前年同期)		前年同期 27年3月期 第2四半期	通期予想 28年3月期
		増減額	増減率		
売上高	19,476	△ 1,110	△5.4%	20,586	39,000
営業利益	761	356	88.0%	405	1,260
経常利益	818	396	93.7%	422	1,360
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	647	51	8.7%	595	1,080

設備投資	869	218	33.6%	650	2,100
減価償却費	805	3	0.5%	801	1,650

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

【製品・サービス別】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	28年3月期第2四半期		27年3月期第2四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	14,222	477	15,083	228	△ 860	249
鋳鉄	4,210	231	4,448	149	△ 238	82
金型・工具	1,043	52	1,054	27	△ 10	24
計	19,476	761	20,586	405	△ 1,110	356

【海外売上高】

(単位：百万円、%)

摘要	当 期		前年同期		(対前年同期)	
	28年3月期第2四半期		27年3月期第2四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	2,690	13.8%	2,626	12.8%	63	2.4%
その他の地域	46	0.2%	48	0.2%	△ 2	△4.8%
計	2,736	14.0%	2,675	13.0%	61	2.3%
連結売上高	19,476		20,586		△ 1,110	△5.4%

3. 経常利益増減益要因(前年同期比)

(単位：億円)

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 原燃料価格下落	7	1. 売上数量減少	3
2. 販売価格改善(円安効果他)	1	2. 労務費他	2
3. コスト改善	1		
計 (A)	9	計 (B)	5
		差引 (A)-(B)	4